

寄島中だより

「夢・目標 仲間 学び」 2月 根気

令和3年2月1日 第10号

編集：原田 洋士

❄️ **2**
February

「非認知能力」

昨今、「非認知能力」という言葉をよく耳にするようになりました。「非認知能力」とは、①自分に向き合う力（自制心・忍耐力など）②自分を高める力（意欲・向上心など）③他者とつながる力（協調性・社交性・コミュニケーション力など）のように、点数化できない力をいいます。これに対して、読み書きそろばん・IQ・英語力・体力・運動能力などのように、点数化できる力を「認知能力」として区別できます。私たちは、日頃、学力や体力の向上を目指し、この認知能力の数値データを判断材料としますが、実は、この「認知能力」の向上のための基盤となる力が「非認知能力」なのではないでしょうか。

中山芳一先生（岡山大学准教授）によると、この「非認知能力」は、「性格・気質など」のように個人の基盤となる「変えにくいレベル」から、「言葉遣い・立ち居振る舞いなど」のように自分でコントロールしやすく意識づけで取得できる「変えやすいレベル」、そして、その中間レベルにあたる「価値観・自己認識・行動特性など」の発達途中の経験と学びの中で形成されるレベルの3つのレベルに分けられるといわれています。また、「非認知能力」は、外から与えたり育てたりすることのできない、自分の意識で伸ばす力であり、そのため、本人が「伸ばしたい」「伸ばそう」という意識が必要であること。そして、3つのレベルの中間レベルである「価値観・自己認識・行動特性など」への本人の意識づけを手助けしていくことが大切であるといわれています。



寄中では、この「非認知能力」の成長を目指し、SEL、コミュニケーション・トレーニング、褒め言葉のシャワーなど、学級活動の中で、様々な取組を行っています。ご家庭におかれましても、子ども達一人一人がこのような力を自分自身で伸ばしていくことができますよう、「認めて励ます」温かい声かけをよろしくお願いいたします。



水曜日 朝活動
コミトレ

毎日 帰りの会
ほめ言葉のシャワー

性教育講演会（3年生） (1/14)



「自分の生き方を自分で判断するための性教育」
ウイメンズクリニック 院長 上村茂仁先生

面接練習（3年生） (1/21)



6校時1・2年生は下校し、全職員での面接練習

寄島中 HPQR コード



